

2025年9月9日

2025年度 第1回理容科教育課程編成委員会議事録

1. 開会日時 2025年9月9日(火) 10:00-11:30
2. 開催場所 埼玉県理容美容専門学校 2F 実習室 E
3. 出席者 8名

	氏名	所属
1	熊野 博仁	埼玉県理容生活衛生同業組合 本部講師会
2	中田 和伸	埼玉県理容生活衛生同業組合 本部講師会
3	若月 良仁	埼玉県理容生活衛生同業組合 本部講師会
4	若林 一樹	株式会社大野孝 グループ 本部企画室長
5	増村 信雄	埼玉県理容美容専門学校 校長
6	千住 義祐	埼玉県理容美容専門学校 法人本部長
7	原田 怜	埼玉県理容美容専門学校 教務課長
8	松本 朋子	埼玉県理容美容専門学校 理容科教員・学生生活委員長

4. 学校長 開会挨拶 (増村校長)
5. 2025年度第1回・教育課程編成委員会の目的 (司会・千住課長)

【教育課程編成委員 目標の確認】

司会は資料の確認を行い、職業実践専門課程の教育課程編成委員会の目的と役割について説明しました。

6. 要約

会議は専門学校の現状報告と学生の教育・生活に関する議論が行われました。担当より、現状報告が行われ在籍状況と学生委員会の活動報告、教育課程委員会からは、前期学科試験の結果及びインターンシップや母校訪問、卒業生講話などの実施状況も報告されました。また、2年生についてはコミュニケーション能力の低さが課題として挙げられました。

会議の後半では、現代の学生のコミュニケーション能力や責任感の欠如、スマートフォン依存などの問題について活発な議論が行われました。コロナ禍の影響で共同活動の経験が少ない世代であることや、デジタル機器の使用に関する適切な指導方法についても

意見が交わされました。

最終的には、学生たちの特性を理解しつつも、基本的なコミュニケーション能力や責任感を育てる必要性が確認され、学校と現場（サロン）が連携して教育していくことの重要性が強調されました。

7. 現況報告

原田課長から在籍状況について報告がありました。1年生は20名でスタートし、進路変更で1名が退学し、現時点で19名となっています。2年生は17名となっています。

8. 学生委員会

学生委員会の活動について報告がありました。7月16日に競技会が行われ、10名の学生が参加しました。10月3日の行事準備、10月25日のイベント計画、9月23日の浦和踊りへの参加は社会福祉授業の一環としてなどが報告されました。また、7月28日から30日にかけて韓国の高校生との交流も行われました。ボランティア活動としては、継続的に県内小学生らに対して「リアル体験入学」を参加者38名、保護者31名で実施した。2月には埼玉マラソンへの参加予定も報告されました。

9. 教育課程委員会の報告

原田課長から教育課程委員会の報告がありました。9月1日に前期学科試験が行われ、1年生19名、2年生17名全員が受験し、60点以下で追試に該当する学生が約8割を超えていることが報告されました。実技試験については比較的良好な結果でした。また、インターンシップや母校訪問、卒業生講話などの実施状況も報告されました。

10. 国家試験結果と在校生の状況報告

松本委員長から71期生の国家試験結果について報告がありました。実技は全員合格したものの、学科で2名が不合格となりました。また、現在の2年生（72期生）については出席率にばらつきがあり、コミュニケーション能力が低いことが課題として挙げられました。1年生（73期生）については基礎技術の習得に取り組んでいることが報告されました。

11. 学生のコミュニケーション能力に関する議論

現代の学生のコミュニケーション能力について議論が行われました。コロナ禍の影響で人との関わり方を学ぶ機会が少なかった世代であることが指摘されました。選択科目講師の委員からは、授業でのグループワークの様子が報告され、学生たちが自主的に協力して作業を進めることの難しさが述べられました。

12. スマートフォン使用に関する議論

学生のスマートフォン依存について議論が行われました。休憩時間や授業中のスマートフォン使用について、どのように指導すべきか意見が交わされました。委員からは、サロンでの使用状況や若い世代のデジタルスキルを活かす方法についても意見がありました。

13. 遅刻・欠席問題と責任感の育成

学生の遅刻・欠席問題について議論されました。特に常習的に遅刻する学生への対応や、責任感をどのように育てるかについて意見が交わされました。学生が自分の行動が他者にどのような影響を与えるかを認識させることの重要性が強調されました。

14. 教育方法の変化と今後の方向性

現代の教育環境の変化と、それに対応した教育方法について議論されました。小中学校で本来学ぶべきことを専門学校で教える必要性が生じていることや、学生の特性を理解しつつも基本的なスキルを身につけさせる重要性が確認されました。学校とサロンが連携して学生を育てていくことの大切さも強調されました。

15. 今後の取組について

- ① 学生の遅刻問題に対して、朝の時間管理の指導を強化する。
- ② 学生にスマートフォンの適切な使用方法を指導する。
- ③ 学校とサロンが連携して学生の教育を進める体制を強化する。
- ④ 感謝祭などのイベントを通じて学生の責任感を育成する。
- ⑤ 学生が楽しみながら学べる機会を増やし、自主性を引き出す。

16. 閉会

増村校長より挨拶があり

司会の千住部長より次回の教育課程編成委員会を2026年2月24日に開催する事を確認して閉会となりました。

以上